



# 自他を大切にする



## 1月の行事

8	木	3学期始業式 中央委員会	
9	金	1・2年確認テスト①～⑤ 専門委員会	交通指導
		3年第3回基礎学力テスト	
10	土		
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	(45分)	
14	水	(45分)集会 カウンセラー あわ文化検定	
15	木	(45分)ノー部活デー	
16	金	(45分)英検	
17	土		
18	日		
19	月	(45分)	
20	火	(45分)⑤⑥1年思春期講座	交通指導
21	水	(45分)マナーアップ活動 カウンセラー	
		育成型選抜出願	
22	木	(45分)市新人駅伝競走大会(吉野川市総合グラウンド)	
		育成型選抜出願(午後1時まで)	
23	金	(45分)避難訓練	
24	土		
25	日	第31回徳島県合唱アンサンブルコンテスト(あわぎんホール)	
26	月	小6対象入学説明会(鴨島公民館) 3年三者面談	
27	火	(45分)3年三者面談	
28	水	(45分)中央委員会 カウンセラー 3年三者面談	
29	木	(45分)専門委員会 3年三者面談	
30	金	(45分)集会 3年三者面談	交通指導
31	土		

❖ 予定は変更になることもあります。

## 2月の行事

1(日)	エコフレンド	16(月)	学年末テスト
2(月)	特別日課 午前中45分日課	17(火)	学年末テスト
	月①～⑤+水⑥	18(水)	学年末テスト
4(水)	45分×5 カウンセラー	20(金)	マナーアップ活動
	ノー部活デー	23(月)	天皇誕生日
6(金)	漢検	25(水)	中央委員会
11(水)	建国記念日	26(木)	専門委員会
	県新人駅伝競走大会		ノー部活デー
12(木)	1・2年基礎学力テスト	27(金)	集会

## 3学期の級長 副級長

学級	級長	副級長
11	立石 大惺	吉川 紗矢
12	角野 美月	木本 咲也
13	船越 楓	藤井 晴天
14	石井 佑弥	中山 杏樹



## 新年の抱負

4組 新田 拳士

僕の今年の目標は、3つあります。1つ目は勉強を頑張ることです。中学生になり勉強が難しくなって、テストの点数がなかなか上がりませんでした。僕は特に国語と英語が苦手なので、家で予習や復習の時間をしっかりとつくり、2年生になるまでに少しでも克服したいです。

2つ目は部活動です。2学期は大会が多かったので、その分練習も頑張りました。しかし、初めての体験ばかりで知らないことが多くあり、緊張してしまったりして、試合ではあまり活躍できませんでした。なので今年は前よりも練習時間を大切にして、試合でチームに貢献できるようにしたいです。

3つ目は、礼儀正しくすることです。毎朝先生や友達に会ったら、自分からしっかりとあいさつをしたり、友達が親切にしてくれたときに、ちゃんと「ありがとう」と言ったり、当たり前前の礼儀を当たり前前にできるようにしたいです。

中学生になって、生活がとても忙しくなったけど、勉強や部活動、行事などをみんなと協力して、充実した時間を過ごしていこうと思います。そして、2年生につながるこの大事な3学期を全力で頑張りたいです。



## ◇◇◇ 2月12日(木)基礎学力テスト ◇◇◇

2月12日(木)に、1・2年生は基礎学力テストがあります。基礎学力テストは、徳島県全域の中学生が同じ問題を同時刻に受けるテストです。1・2年生では、毎年2月のこの時期に1回実施されます。3年生では、10月と11月と1月の3回実施されます。基礎学力テストの範囲表は、すでに12月に配布していますが、もう一度ここに掲載しておきます。

	範囲	
国語	教科書 p191まで 1年生の既習内容 文学的文章、説明的文章、古典 漢字・言葉・文法など 条件作文(200字～260字)	該当する資料を含む。
数学	教科書 p190まで 5章 『平面図形』の最後まで ※おうぎ形の問題は含まない。	
社会	・地理的分野 北アメリカ州まで 教科書 p105まで ・歴史的分野 鎌倉幕府の滅亡まで 教科書 p84まで	
理科	自然の中にあふれる生命 いろいろな生物とその共通点 身のまわりの物質 光・音・力による現象	
英語	教科書 p107(英語早わかり)まで	

このようにテスト範囲はたいへん広範囲におよんでいます。テスト範囲の学習内容を確認し、不得意な分野の復習に力を入れるなどしながら、2月12日の基礎学力テストに向けてテスト勉強を進めていきましょう。テスト対策として、ここ2～3年間の基礎学力テストの過去問題を授業や宿題などでやります。間違ったところやわからなかったところをノートにまとめたり、教科の先生に質問したりするなどして、積極的に取り組んでいきましょう。

また、4日後の2月16日からは学年末テストが始まります。学年末テストは、これまでの期末テストと同様の9教科の定期テストです。3学期はこれまで以上に毎日の授業を大切にし、家庭学習を充実させ、計画的に学習を進めていく習慣を身につけましょう。



## 平和学習

修学旅行で沖縄を訪ねるに当たり、11月から少しずつ「平和学習」に取り組んでいます。「平和学習」の目的は、「過去の戦争について知り、戦争が尊い命や生活の全てを奪うことを学ぶ」「沖縄戦やひめゆり部隊について知る」「平和学習を通して自分の心を見つめ学んだことを生活に生かす」です。授業では、沖縄戦などについて学習を進める予定です。

保護者の皆様、ご家庭でも「平和学習」に関して、お子様へのご助言など、ご協力をよろしくお願いいたします。



学校の図書室には、沖縄戦・ひめゆり部隊・戦争下の人々の暮らし・疎開した子どもたち・原爆など、戦争に関する書籍を置いてあります。手に取って読んでみましょう。

## 「さとうきび畑の唄」を見て

1組 池光 美月

私は「さとうきび畑の唄」を見て、戦争はすごく恐ろしいものだなと思いました。戦争になると、嫌でも戦いに行かなければならなくて、とても怖いなと思いました。戦争は昔のことだからあまり知らなかったけれど、もし今戦争が起きていたら日本はどうなるんだろうと思いました。戦争では戦死してしまう人が何万人もいることを知って驚きました。日本人もアメリカ人も同じ人間なのにどうして戦争をしてしまうのだろうと思いました。今、戦争をしている国は一刻も早くやめてほしいです。そして、世界が平和になればいいなと思いました。たくさんの方が死んでしまうのを見ると、本当にとっても怖かったし、悲しくなりました。このお話のように家族が戦死してしまうのはとても悲しいです。今後どの国も戦争をしないでほしいです。これからは、戦争の怖さや悲惨さを忘れずに過ごしていきたいです。

1組 谷木 穂花

1番心に残ったシーンは、いさむが死んだというのを聞いたところです。自分は兵隊に行きたくなくても行かないといけなし、死にたくなくても殺されてしまうのはいやだなと思いました。戦争は絶対にしてはいけないんだなとこの作品を通して改めて感じました。今、当たり前と思っていることは、当たり前じゃないんだなと思いました。だから、今より人に優しく接しようと思えたり、今、当たり前にご飯を食べることができていることに感謝したいです。それから、自分の命を大切にしようと思います。そのために、行動する前に1回考えて行動したいです。「さとうきび畑の唄」は、今までで1番感動しました。また見たいです。

2組 高橋 由衣

私は今日、平和学習を終えて、言いようのない無残な気持ちとこんなことが起きていたという事実にはゾッとしました。

おじいちゃんがどんな場面でも決してつらい姿を見せず、皆を励ましている姿を見るたびに、父としての強さと、戦争のおごさとのコントラストをすごく感じて、こんなことが実際にあったのか、こんなに楽しい日常をおくる一つの家族が本当にこわされてしまったのかと何度も何度も思いました。しかし、この物語はただの物語ではなくこの日本で本当にあったことなのだと思うと、このままはだめだと思い必死に画面を見続けました。

私は、戦争は絶対にダメだと思います。戦争は、その一部を見ただけでも胸が苦しくなるほどむごいことなのです。もう戦争はしない、させないと、改めて強く思いました。

3組 本村 ももか

このドラマを見て一番に感じたことや、思ったことは、戦争への恐怖です。戦争については何度か授業で習いましたが、こうして実際にあったことを再現しているのを見ると、戦時中はこんなにもひどい世界だったのかと実感することができた気がしました。この戦争で約25万人もの人が亡くなり、生きることができた人も捕虜となり収容所に行くところを見るととてもつらくなりました。明石家さんまさんが演じるお父さんが最後までずっと笑顔で、戦争中でもみんなを笑顔にし、写真家として撮り続けた姿にとっても感動しました。そして、「アメリカも同じ人」。お父さんは最後まで、家族を殺した敵国のアメリカ人を撃つことはありませんでした。「戦争をするために生まれてきたんじゃない。」「戦争では何も解決しない。」これらの言葉がとても心に残っています。戦禍に生まれた幸子の姿にも感動しました。「戦争を二度としない。」そのために自分は今何ができるのかを改めて考えるきっかけになりました。

4組 石井 佑弥

僕は今まで戦争のことなんて気にかけなかったけど、この映画を見て戦争の恐怖を改めて知りました。戦争によって家族や友達を失い、敵味方どちらにとってもよいことはなく、何も解決しないと思いました。また、戦争に全く関係のない一般市民が理不尽に殺されるのも戦争の怖さの一つだと思いました。戦後80年になった今だからこそ、戦争のことをより深く知り、二度と戦争を繰り返さないために、僕たちが語り継いでいかないといけないと思いました。これからも修学旅行までに平和についてたくさん勉強していきたいです。

